

第八 昭和十七年春

一、支那ノ国戦力ハ戦争ノ長期化ト共ニ逐年低下
シ特ニ大東亞戦争發生ニ伴ヒ其ノ主要補給路
ヲ遮断セラレタル爲衰耗著シキモノアルハ事
實ナリ。然レ共国民党及中央軍ヲ樞軸トスル
蔣改權ノ基礎ハ未ダ強固ニシテ其ノ抗戰意識
並抗戰能力ハ尙相当大ナルモノアルノミナラ
ズ聯合國側最後ノ勝利ニ就スル確信ニヨリ現
態勢ノ儘推移スルニ於テハ支那事変ノ迅速ナ
ル解決ハ到底期待スルコト能ハサルハシ。

二、全般ノ情勢特ニ對蘇情勢之ヲ許スニ於テハ大
東亞戰爭ノ成果ヲ利用シテ新呼トシテ支那專
妻處理ニ邁進シ之ガ速カナル解決ヲ圖ルヲ要
スベク此ノ際重慶政權抗戰ノ原動力ノ一タル
中央軍ニ對シ一大打撃ヲ與フルト共ニ敵側ノ
軍需生産力ノ約二ノ一ヲ保有シ戰力培養補給
ノ最大策源タリ又米英航空戦力ヲ導入保存ノ
基地タル四川平地ニ進攻シ重慶政權抗戰ノ根
據ヲ覆滅シテ之ヲ確保セシメ敵ヲ屈服セシム
ルノ算相當大ナルモノアルベシ。又假令其ノ
屈服ヲ見ガル場合ニアリテモ實質的ニハ之ヲ

0381

轉落セシムルコトヲ得事變解決ヲ促進シ得ル
コト大ナルベキ又本作戦ノ遂行ハ米英ヲシテ
支那奥地ヲ基地トスル我本土空襲ノ企圖ヲ概
シテ封殺シ得ベシト判断セラル。
ニ諸般ノ情勢止之ヲ許サバ爾場合ニ於テハ概本
現壓迫態勢ヲ経續シ持ニ敵地區ニ對スル封鎖
遮断ヲ徹底シ經濟壓迫ヲ強化シ改謀各ヲ併用
スルト共ニ他方占據地域ニ對スル清郷模範地
區ノ拡大ニ依ル治安建設ヲ促進セリ
四ルマニ方面ヨリスル壓迫ノ相俟チ長期ニ於テ

0382

重慶政權、屈服の期に得ば、シト判断ス。

十二

0383